

白い水が出る (しばらくすると透明になる)

原因

水道水にコップを入れた時、下の方から徐々に透明になる場合は空気が原因。給湯設備の場合は水道水が急激に加熱され溶存している空気が放出され白く濁ることがあります。

対策

空気が原因の白濁は、水質異常によるものではありませんので、安全性の上で問題はありません。



浴室、タイル、 トイレなどの陶器 がピンク色になる

原因

空気中の雑菌の中で「霊菌」と呼ばれる細菌が生育すると、ピンク色の色素を形成することがあります。汚れや湿気が多い浴室などで細菌が繁殖することが原因です。

対策

湿気が多い浴室など水周りの清掃や換気を行ってください。漂白剤の使用も効果的ですが、浄化槽を設置しているお宅では使用上の注意が必要です。

カルキ（塩素）臭がする



原因

水道水は水道法により衛生のため塩素消毒が義務付けられています。残留する塩素によって塩素臭を感じる場合があるかもしれません。配水地域や個人差もありますが、安全上の問題ははありません。

対策

塩素臭は水道水が病原菌などの汚染から守られた安全な水である証拠といえます。臭いが気になる場合は煮沸後に冷やすことで解決できます。



シンナー、灯油臭がする

原因

塗料や接着剤が溶け出して水道水に臭いがついた場合や塗装工事で使用したシンナーや灯油が土壌に染み込み、給水管を侵して水道水に影響を与えている可能性があります。

対策

水源汚染など深刻なケースもありますので、シンナーや灯油臭を感じたら市上下水道課までご連絡ください。

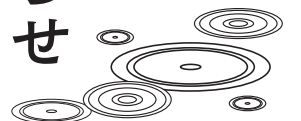


市のホームページをご覧ください。
▲改定後各料金をご覧ください。

消費税法の一部改正に伴い、10月から消費税および地方消費税の合計が10%に引き上げられることから、水道料金および下水道使用料についても10月1日から増税分を料金改定します。
ただし、改定期日前から継続して使用されている場合の10月と11月の検針分は「消費税法の一部改正に伴う経過措置」に基づき改定前の金額となるため、12月検針分からの改定となります。

水道料金・
下水道使用料

改定の
お知らせ





File: 16



自分が管理している農園での出荷作業が始まっています！

今月の協力隊員 菅原 心 隊員
問 農政課 ☎ 22-2111 (内線 250)

「桃の効能」

桃の旬は意外に長く7月初旬から9月末までさまざまな品種が収穫されます。

女の子のお祭りが“桃の節句”と言われるだけあって女性にうれしい効能がたっぷり。肌にうれしいビタミンC、腸内環境を改善し便秘に効果のあるペクチン、むくみ解消に効果のあるカリウム、さらに皮にはカテキンが含まれているので皮まで食べれば、活性酸素の増加を防ぎ老化防止などの効果が見込まれます。

桃の葉を乾燥させたものをお風呂に入れた桃湯は乾燥や湿疹など肌のトラブルに、桃の種は生薬として漢方に用いられています。中野市の旬のおいしい桃を食べて健康にすごしましょう。

- 1_8月下旬、リンゴの摘果作業や出荷作業が始まりました。
- 2_桃には、冷え症や夏バテ予防に効く鉄分も多く含まれます。
- 3_私が育てたリンゴ「つがる」も出荷します！



1



2



3



池田市長の vol.67 わくわくレポート

豊かな水資源とともに生きる

水は人間が生きていくうえで、不可欠なものである。しかしながら、水は時に洪水、浸水など災害をもたらすものであり、気ままともいえる自然のあり様を、私たちは制御し管理する中で利活用しなければならない。特に、最近では、気候変動により、局所的集中豪雨が多発する中で水と上手に付き合うことが、これまで以上に重要になってきている。近代の水管理技術の向上により、水からの安全確保はかなり進んできているが、堤防の整備など河川管理は常に怠ってはならない課題である。古くから水を管理し、利用することで私たちの営みは保障されていることは言をまたない。「賀茂河の水、双六の賽、山法師、これぞわが心になわぬもの」と嘆いたという白河法皇の逸話があるが、水とのお付き合いは千年たっても変わっていない。

現在、私たちは水道の蛇口をひねれば水が出ると



◀今年の中野シンシオンまつりは、踊り終了とともに、強い雨が降り出した。雨との付き合いも重要である。

いう便利な世の中を享受している。しかしながら、こうしたことも、実にさまざまな努力があって実現されていることを忘れてはならない。江戸時代初期、江戸の生活用水確保のため、多摩の羽村から四谷までの全長43kmの溝渠「玉川上水」が築かれた。一方、中野市においては、中野小唄にもあるように、まちの真ん中に川があり、扇状地を豊富な水資源が流れているが、これらは玉川上水と同様に、八ヶ郷用水に代表されるように、古くからさまざまな困難を乗り越えて水を巡る調整が図られた結果であり、豊かな中野扇状地を形づくってきたと言える。こうした豊かな水環境を維持していくこともまた行政に課せられた重要な使命である。